

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2017.01.No233

1月号

目次

あたらしい年を迎えて……………	1
第59回建築士会全国大会報告……………	2
道士会の動き……………	4
Coffee Break……………	5
青年・女性の怒……………	6
〔青年委員会〕	
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>



あたらしい年を迎えて

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族の方々とご一緒に、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

全道大会は、本会にとって会員が一堂に会することができる唯一の機会であります。昨年は室蘭市において、第41回目となる全道大会を開催いたしました。室蘭大会では、室蘭市だけではなく、もっと広いエリアの西胆振を念頭に「鉄と湯けむり・大地のめぐみ」をテーマとして、地域資産を生かした、心豊かな地域づくりを示唆するものになったと思っております。室蘭支部の皆様には、1年以上にわたり周知の準備をしていただき深く感謝申し上げます。

今年は、海外からそのパウダースノーが高い評価を受け、今や冬のスキー場としてだけではなく、四季を通して賑わうニセコ・羊蹄の地であります倶知安町、ニセコ町を舞台に**全道大会後志大会**を開催いたします。私たちが日頃目にするリゾート地とは少し趣の異なる景観を見ていただくとともに、新幹線の開業に向けた、地元のまちづくりへの熱い思いも感じていただければと思います。是非とも多くの皆様がおいでくださいますようお願い致します。

昨年は、例年になく台風やそれに伴う低気圧がいくつも北海道に上陸しました。特に、台風10号の大雨にともなう河川の氾濫により多くの建物が被災し、基幹産業である農業、漁業も大変大きなダメージを受けました。さらには、JRの幹線や道路網が寸断されたことにより、それらの物流にも大きな障害をもたらし、今も完全復旧とは言えない状況にあります。あらためまして、被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。一部マスコミからは、震災対策に比べて、水害などについて国等の施策の遅れが指摘されているようであります。水害は建築のカテゴリーにはありませんが、私たちは、地域に生きる建築士として、震災のみならず広く防災に関わる様々な取組みについて考えていかなければなりません。

一方、昨年4月14日に発生した平成28年熊本地震

は、予想もしなかった2度にわたる震度7の地震により、甚大な被害をもたらしました。本会からも、広域支援要請に基づき**応急危険度判定士**を熊本に派遣し、判定活動を実施したところであります。このことについて、昨年10月、本会は国土交通省が進める第28回住生活月間において、思いもよらぬ**国土交通省住宅局長表彰**を受賞いたしました。

この熊本地震に関しては、昨年7月、日本建築士会連合会では、日本建築学会など3団体と共同で、**熊本地震被災文化財建造物の再生のための提言**を国や熊本県等に対して行い、その中で、被災した文化財建造物の再生にあたって、ヘリテージマネージャーの活用を求めたところです。幸いなことに、本会では、北海道文化財保護協会、NPO法人歴史的地域資産研究機構と協同で、平成26年からヘリテージマネージャーの育成事業を実施しております。今後、ヘリテージマネージャーの皆様には、常日頃の活動はもとより、災害時における文化財建造物の滅失を防ぐとともに、その価値を適正に守り、地域の歴史ある風景の再生・活用を進めるうえで、大いに力を発揮していただきたいと思っております。

平成31年開催の第62回全国大会北海道大会につきましては、昨年12月、会誌と一緒に皆様にお届けした応募要領のとおり、現在、大会運営の根幹となる**大会テーマの募集**を行っております。皆様方のふるっての応募を期待しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年も、1月早々のスタートとなる建築基準法講習会を皮切りに、新たな知識や情報の取得に向け、各種講習の実施を予定しております。特に、建築に特化したテキストを用いた監理技術者講習につきましては、技術力の向上や技術の継承に向けた取り組みの一環として、積極的に進めていきたいと考えております。どうか、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



第59回建築士会全国大会大分大会 温泉数と湧出量日本一の温泉地別府で開催

(一社)北海道建築士会 副会長 吉木 隆 (札幌支部)

第59回建築士会全国大会「大分大会」は10月22日別府市ビーコンプラザで「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」で地域の創生(おんせん県おおいたで湧き上がる多様な知恵)をテーマに、全国から3100名が参加し開かれました。当日は生憎雨模様でしたが、13のセッション・二つのフォーラムで各地の取り組みを共有、その後記念講演、大会式典、大交流会がスムーズに進行されました。その模様を報告します。

〈記念講演〉



記念講演はフィルハーモニアホールで「いいちこ」アートディレクター河北秀也氏、「いいちこ」醸造

元・三和酒類(株)名誉会長西太一郎氏による「どうしたらもっと幸せになれるか、それを考えるデザイン」の演題で講演されました。

30数年におよぶ「いいちこ」の商品企画・パッケージ・テレビCM・ポスター・雑誌広告・出版などすべての企画デザインを河北氏が話されました。当初3.5億円の売上げが現在350億円以上になる上で注文主とデザイナーが対等の関係を築き上げ、緊張感を保つことが相乗効果を上げています。日本の風景を日本では見つけ出せなくなり、残念ながら海外で日本らしさの風景を撮影している状況を嘆いていました。西氏から「酒は地域の文化」「企業がつくり出す商品の文化」と文化活動に積極的に係り、地域活性化にも情熱を燃やしています。文化科学誌季刊「いいちこ」は1989年から発刊し、今まで130数号を継続しています。国内は基より海外まで知れ渡り反響を得ています。大会参加者に368頁の「いいちこデザイン2017」と「いいちこボトル300ml」が土産品として提供されました。大変重い土産となりました。

〈大会式典〉

大会式典はコンベンションホールの半分を会場設営したものです。式典に先立つオープニングセレモニーでは、全国大会14連勝の大記録をもつ、日本文理大学チアリーディング部「BRAVES」の華麗な演技が披露されました。

井上大分県建築士会会長は「4月14日発生した熊本地震により、大会開催を危ぶむ声もありましたが、むしろ災害に立ち向かう被災地の支援と安全・安心

な建築に携わる建築士の気概を示す場とすることに意義があると考え、予定通り実施することとした」と挨拶しました。

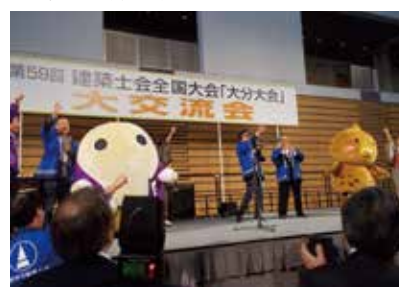
連合会三井所会長から「熊本地震、各地での集中豪雨や台風による被害、更に先の東日本大震災の復興も道半ばというところで、これから発生する災害を予想して、事前に準備することも明らかになってきた。建築士と建築士会に今こそ復興と防災に向かって連携し、有効な活動の方策を見出さなければならぬ」との挨拶がありました。

その後、来賓祝辞、各種表彰、大会宣言、大会旗引継、次期開催地衛藤京都府建築士会会長挨拶があり式典は終了しました。



〈大交流会〉

大交流会はコンベンションホールの西側に設営されました。ブロック毎にテーブル分けされ、ウェルカムドリンクを持ち入場、井上大分県建築士会会長の挨拶・乾杯が行われスタートしました。舞台上でジャズ演奏が会場の雰囲気を盛り上げ、海の幸・山の幸に舌づつみを打ち、また旨いお酒を味わいながら交歓を楽しみました。参加者や料理屋台へのインタビューが舞台上の大型ビジョンに映し出されました。各テーブルには別府温泉の飲食店から派遣された女性が配置され、色々お世話になりました。最後に京都府建築士会から次期開催地アピールが行われ、大交流会は終了しました。



大交流会は終了しました。

大交流会での挨拶やアトラクションを省いてすぐに歓談に入れたのは参加者ファーストで歓迎出来ました。函館での全国大会には、大分大会の

良いところを取り入れていきたいと思います。

メインイベントの記念講演・大会式典・大交流会は前頁に記しましたが、会場内外の様相を次に記します。

〈シャトルバス〉

主会場のビーコンプラザへのアクセスとして別府市内3か所からシャトルバスが運行されました。JR別府駅西口は午前8時30分から10分間隔で運行、参加者の便利な足となりました。また、第二会場の別府市公会堂とは連絡バスも運行されました。大交流会終了後には別府駅へのシャトルバス運行により、スムーズな参加者の夜の飲食街への移動に役立っていました。

〈案内・看板〉

別府駅改札口近くに案内者・歓迎看板を配置し参加者を案内していました。会場のビーコンプラザ周辺には、大会案内看板・駐車場案内看板が配置されていました。メインエントランスには一文字及び大型看板、東エントランスには大会幟が階段一杯に配置されました。館内案内も適切に配置され、広い館内ではあるが迷わず誘導されました。

〈総合受付・他〉

メインエントランスホールの片側に総合受付が設置され、来賓・一般・JTBの受付が分けられブルーのスタッフジャンパーを着用した大分県建築士会会員が忙しく対応していました。総合受付横にはクロークを設置、大交流会終了まで開設されていました。その他次期開催地京都府士会の出展ブース、また東京士会・観光案内出展ブースが設置されていました。

〈企業出展〉

メインエントランスホールに地域の企業14社及びBIM関連企業4社が出展し参加者にアピールしていました。東エントランスホールには2社の書籍販売コーナーが設置されました。

〈物産展・うまいもの市〉

物産展は東エントランスホールに設置、大分特産のカボスを使ったお菓子や伝統の銘菓、郷土の名産品が販売され、大勢の参加者が購入していました。また、記念講演の関連で三和酒類(株)の「いいちこ」

コーナーも設置されました。

うまいもの市は東エントランス側外部の芝生広場にテント設営されました。当日は雨模様のため水溜りが出来て、小型ダンプにより砂入れを行っていました。帯広での全国大会を思い出し、大分県士会担当者のご苦労に感謝しました。昼食時には弁当を申し込んでいない参加者が、地元B級グルメ等を屋台から購入し、大分の食文化を体感していました。

〈セッション・フォーラム〉

当日セッションはパネル展示も含めて12、午前8会場午後4会場で実施されました。午後のセッションは記念講演と重複開催となり参加者の分散が生じていました。

フォーラムは二つで「折り紙建築、温泉でまちづくり」とセッションの「木造建築、ヘリテージマネージャー」を大分県士会が運営、主催県士会としては盛り沢山な内容となっていました。その他のセッションは連合会の実行委員会及び部会が担当・運営しました。

〈記念展示〉

連合会作品賞パネル展示、第6回建築士甲子園表彰作品、伝統技能者の写真、青年委員会活動が展示されました。また、別府市公会堂では今春終了した大規模改修工事の記録や大分県内の歴史建造物の写真が展示されました。

〈地域交流見学会〉

エクスカージョンは日帰り5コースが企画され実施されました。前日の疲れも見せずに午前8時から各方面に出発されました。

大分大会は盛り沢山のプログラムを主会場のビーコンプラザで実施されました。参加者にとっては利便性が良い大会でした。シャトルバスの運行も移動を容易にして、初めての都市で大変助かりました。

セッション数をどの程度にするかは、会場確保がどの程度確保出来るかに掛かっていますが、何れにしても大会テーマを決めることによってイメージが膨らんでくるものと思われれます。大会テーマ募集中です。皆様の沢山の応募を期待します。



シャトルバスの運行



総合受付



企業出展ブース



セッション会場状況



うまいもの市の雨水措置



記念パネル展示

(一社)北海道建築士会 2017 年間行事予定

1月	16日～25日 第50回建築基準法講習会	7月	予定 二級建築士学科試験 予定 一級木造建築士学科試験
2月	1日～23日 第50回建築基準法講習会	8月	予定 二級建築士学科試験合格者発表
3月	13日 第1回理事会 24日 定時総会 25日 全道青年委員会連絡会議	9月	1日 第3回理事会 予定 一級木造建築士建築士学科試験合格発表 予定 二級建築士設計製図試験 30日 第42回北海道建築士会全道大会（後志大会）
4月	予定 二級木造建築士試験受付	10月	予定 一級木造建築士設計製図試験
5月	予定 一級建築士試験受付 19日 第2回理事会 20日 青年建築士の集い	12月	予定 建築士試験設計製図試験合格者発表 1日 第4回理事会 8日 第60回建築士全国大会（京都大会）
6月	3日 支部長・支部事務局長合同会議 17日18日 青年委員会「建築士のお仕事体験イベント」		

第7回 高校生の「建築甲子園」道予選

（公社）日本建築士会連合会主催の「建築甲子園」“空き家を活かす”が開催され今回は道内3校から応募があり、審査会にて北海道名寄産業高等学校の

作品（タイトル「はじめの一步」）を代表校に決定しました。

全国選手権の結果は、平成28年12月頃決定予定。



応募作品「はじめの一步」



先生と北海道名寄産業高校の皆さん

平成29年 専攻建築士登録申請のご案内

〈受付期間〉

平成29年 1月4日～2月28日

〈申請書〉

北海道建築士会HPよりダウンロード下さい。

〈申込〉

申請手数料（審査手数料・登録料）の振込控えを申請書に添付して北海道建築士会へお申込みください。

※便利なWEB申請も行っております。

専攻建築士更新対象者の方へは、更新申請についての案内を送付しております。該当の方で届いていない方がいらっしゃいましたら本部事務局までご連絡ください。（011-251-6076）

後志支部

後志支部の研修活動について（次期全道大会の宣伝）



副支部長
黒瀧 敏雄

後志支部では、毎年「建築士の日」の活動に研修会を開催しております。今回は、ニセコ町の駅前倉庫群の研修です。この倉庫群は、JRニセコ駅前(中央地区)に位置し、かつては羊蹄山ろくの農産物の集積場として、沢山の倉庫やでんぷん工場が建ち並んでいました。現存する6棟の倉庫のうち歴史的建造物としての特色を生かした「旧でんぷん工場(木造)」「1号倉庫(石造り)」の2棟の改修内容と再活用について視察しました。この施設は、再活用に向けて町民参加によるワークショップや検討委員会などを経て、基本設計、劣化・耐震調査、実施設計、改修工事など1億7千7百万円の事業費となっております。施設の運営は、「特定非営利活動法人ニセ

コ倉庫邑」が行っており施設の維持管理や広場でのイベントなど観光客や町民との地域交流空間の場として再活用されています。今後の倉庫群の活用内容が大変楽しみです。さて、話は変わりますが平成29年度の北海道建築士会全道大会は、「倶知安・ニセコエリア」を会場として開催されます。大会テーマは「NISEKO GLOBAL」です。現在、少数精鋭で大会準備に向けて頑張っております。是非、多くの方の参加をお待ちしております。



倉庫内視察



全道大会宣伝

宗谷支部

支部の活動について出来ること



青年部長
三国 竜

昨年10月22日の建築士会全国大会(大分大会)において、宗谷支部から岸前支部長と八重樫前事務局長が揃って会長表彰を受賞されました。また全道大会では木村元理事が受賞され大変うれしく感じております。岸前支部長は私が青年部に携わり始めた頃には既に支部長として活躍されておりましたので、16年間の長きに渡り支部長を務められたということに改めて実感しました。八重樫前事務局長、木村元理事におきましても岸前支部長同様長く支部や地域で活躍されました。

日頃の業務、士会活動、地域活動でも宗谷支部には本当に尊敬できる方々がおられる中、昨年から青

年部長として活動させて頂いております。早くも1年がたちますが、先輩方から引き継いだ事業、新たに始めた事業も含めて続ける事の大変さを常々感じております。

そのなかで常に大切だと感じていることは、この稚内、宗谷に住む事で携わる地元の仲間を始め、同じ志を持った建築士会の仲間との繋がりです。

やはり一人で出来ることは限られています。各イベントを実行する為に皆が知恵や意見を出せる環境、率先して発言できるような環境を作り、若手会員にとって有意義な魅力ある支部作り、これから建築を目指す子供たちを増やせるように、少しでもお手伝いが出来たら良いと思います。

最後になりますが今後とも宗谷支部をよろしくお願ひします。

笠原爺ィの釣り日誌

～DNAと背後霊「魚釣り八十八か所」の巻～

9

マダ、1匹も釣ってないのに、大宴会

その夜、稚内の「釣り名人」、2人をお招きして4人で、北の海の「釣り宴会」。夜の更けるのを忘れた。今時期は鮭狙い、鮭が面白い、何たら、かんたらと。

「有難い人」は「歯舞、多楽島生まれ」の魚通。

お招きした名人の1人は、昔、建築士会の青年部で、お世話になった人、今は、立派な館長さんで、釣りクラブの会長さん。そして、離島から奥さんを貰ったとか。

船も持っていて「乗せてあげますよ」と。「爺ィは、船に酔う」ので、丁重にお断りしたが、誠に残念！。

もう1人も、釣りの大ベテラン。色々教えて戴いた。

1人だけ真っ新の「初心者」で、聞く事も言う事もトンチンカン。

久し振りの酒にも酔って、大笑い高笑い。

「鮭釣りが、酒に酔ってドーする?。」

「最北端の離島、礼文島へ」

宴会で「魚釣りは、海の中の離島が一番！」と聞いて、爺ィは早速、車ごとフェリーに乗った。

鷗が飛ぶ、麗らかな波の上を、1時間40分、香深港へ着いた。

「来たゾォーッ、礼文島！」

つづく



稚内港のフェリー乗場

青年委員会

建築のお仕事体験 in 苫小牧

苫小牧支部 青年委員長 岡嶋 昭宏



2016年11月19日(土)に『建築のお仕事体験』in 苫小牧のイベントを実施しました。道南ブロックとして昨年の函館に続き2回目の開催となります。

このイベントを行なう話しを頂いた際、苫小牧で出来るのか？イベント会場は有るのか？スタッフは集まるのか？などの不安もよぎりました、と申しますのも苫小牧支部青年委員会も会員減少、青年委員の高齢化？により近年活発に活動をしていなかった為、しかし、声掛けし臨時会議を開催したところ、久々に会う人から初めての人も集まり『君の名は』みたいな雰囲気からこのプロジェクトはスタートいたしました。会議の場では活発な意見が飛び交い、中でも『せっかく地元工業高校の建築科が有るんだから、一緒にイベントを手伝ってもらいこのイベントを活性化できないか？』と目からウロコが出そうな意見が出ました。

会場の選定も地域密着イベントを多々行なっているMEGAドン・キホーテ苫小牧店様に快諾頂き、その後とんとん拍子に話が進み苫小牧工業高等学校建築研究同好会とのコラボ決定し、苫小牧市様と苫小牧教育委員会様にご協力を頂いての市内小中学校へのポスター掲示と慌しく進みました。



▲スタッフによる下準備状況

満を持しイベント当日を迎え、会場準備後10時の開場を待ちきれない子供達もちらほら、フライング気味でイベントがスタートし、午前の部は苫工生と支部スタッフで行ない、スタッフに若手(高校生)が居ると場の雰囲気が活性化され、とても新鮮さを感じられました。又、子供達も親近感からか、和やかに体験イベントを行なっているように思えました。

今回の行なった内容ですが、①『ブロックのお家で街並みを作ろう』は今まで机上に敷地を設置していましたが、今回は子供目線とする目的で店舗床に街並みの敷地を設置し、子供目線で設置する目的と、

床に設置する事とでスペースとブロックに限りがないければ、いくらでも区画を増やせる為、リアルな街並みが成型できるのではと意見が有り、床に設置する事にしたのですが、ブロックに限りがあり、一区画で精一杯でした。



▲ブロックはやっぱり大人気



▲街並み成型前



▲街並み成型後

②『パズルでお部屋を考えよう』は女の子に人気があり、みんな目を輝かせながら自分のお部屋を作っていました。



▲将来のお家を想像中

③『スチレンボードでお家を作ろう』



▲色とりどりの自由なお家ができました。



▲大盛況状況



▲午前の部：苫小牧支部 with 苫工生



▲イベント会場風景



▲午後の部：苫小牧支部&道南ブロック

午後の部からは苫工生に変わり道南ブロックスタッフにお手伝いいただきました。

楽しい時間は過ぎるのも早く、イベントも無事終わることができ、集客としまして、子供達が66名、親御さんが33名、合計99名と大盛況と成りました。体験内訳としましては①『ブロックのお家で街並みを作ろう』35名、②『パズルでお部屋を考えよう』12名、③『スチレンボードでお家を作ろう』は意外に多く28名、体験者総数75名と初めてのイベントとしては大成功で終わられたと思います。

最後に今回の会場を貸していただいたMEGAドン・キホーテ苫小牧店様、協賛いただいた東西アスファルト事業協同組合様、ならびに、後援苫小牧市様、苫小牧市教育委員会様と、イベントに協力していただいた苫小牧工業高等学校建築研究同好会様、青年建築士の皆様に心よりお礼申し上げます。

CPD認定プログラム(12月認定)

◆第50回建築基準法講習会

〈日程及び会場〉 1月16日(月) 10:30~16:00
北海道第二水産ビル(札幌市)他18か所

〈単位数〉 4単位
〈問合せ先〉 (一社)北海道建築士会
Tel. 011-251-6076

◆平成28年度 建築・住宅セミナー

〈日程及び会場〉 2月13日(月) 13:30~15:30
ホテルポールスター札幌(札幌市)

〈単位数〉 2単位
〈問合せ先〉 (一財)北海道建築指導センター
Tel. 011-241-1893

◆建設工事に伴う労働災害・地下埋設物事故防止講習会

〈日程及び会場〉 2月16日(木) 13:30~17:00
北海道建設会館(札幌市)

〈単位数〉 3単位
〈問合せ先〉 (一社)日本建設業連合会北海道支部
Tel. 011-261-6245

◆省エネ基準・ZEH概要セミナー

〈日程及び会場〉 1月19日(木) 13:30~16:30
とかちプラザ(帯広市)

〈単位数〉 3単位
〈問合せ先〉 ㈱札幌工業検査
Tel. 011-887-6585

◆第2回情報委員会

〈開催日〉 12月10日(土)

- 〈議題〉 1) 平成28年度決算及び事業報告について
2) 平成29年度予算及び事業計画について
3) 会誌「北海道建築士」について
4) ホームページについて
5) その他

◆第3回女性委員会

〈開催日〉 12月17日(土)

- 〈議題〉 1) 平成28年度女性委員会の事業報告及び収支状況報告について
2) ブロック活動報告
3) 平成29年度女性委員会の事業計画(案)及び収支予算(案)について
4) 平成29年度全道大会について
5) その他

関係機関等会議参加予定(1月)

- 19日 日本建築士会連合会正副会長会議 高野会長出席
20日 日本建築士会連合会理事会 高野会長・吉木副会長出席

道本部の主な行事予定(1月)

〈開催日〉 1月14日(土) 第1回青年委員会

道士会の動き

道本部の主な会議報告(12月)

◆第5回理事会

〈開催日〉 12月9日(金)

- 〈議題〉 1) 平成28年一般会計収支予算の補正及び流用(案)について
2) 平成28年一般会計事業報告(10月末)及び収支決算見込について
3) 平成28年特別会計事業報告(10月末)及び収支決算見込について
4) 平成28年全国大会特別会計事業報告(10月末)及び収支予算の流用・収支決算見込について
5) 第41回全道大会(室蘭大会)事業報告及び収支決算(案)について
6) 第42回全道大会(後志大会)事業計画及び収支予算(案)について
7) 第43回全道大会開催地(案)について
8) 北空知支部の財政調整積立金の取崩(案)について
9) 平成29年一般会計事業計画及び収支予算(案)について
10) 平成29年特別会計事業計画及び収支予算(案)について
11) 平成29年全国大会特別会計事業計画及び収支予算(案)について
12) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)について

平成29年

(一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.241」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.235」に掲載します。また北海道建築士会HP(<http://www.h-ab.com/>)では、第1回~5回の作品も見ることができます。

建築士試験「設計製図」合格者(北海道)

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	194	81	41.8%
二級建築士	334	172	51.5%
木造建築士	4	2	50.5%

1月開催講習会のお知らせ

- ・応急危険度判定士認定講習会 1月27日(金) 旭川市
・監理技術者講習 1月11日(水) 札幌市

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は室蘭市にて第41回全道大会が盛会に開催され、今回もその様子を号外にてご紹介させて頂きました。今年は倶知安、ニセコ町を舞台とした後志で開催されます。

今年も皆様のご要望にお答えしていけるよう、委員一同旬な情報の発信に努めてまいります。

新年が事故や災害が無く、皆様にとって平穏で幸せな1年となりますよう心からお祈り申し上げます。

常務理事 久島 正嗣

情報委員会委員長/早川 陽子
副委員長/斎藤 勝哉・高松 徹・森 勝利
委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人
柏倉 晶憲

北海道建築士 No.233号

印刷 平成28年12月/発行 平成29年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番